



# 岩城少年自然の家だより

自然は友だち 青い海原 緑の山なみ

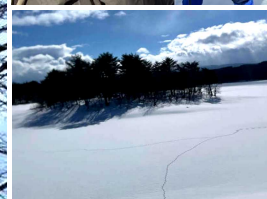
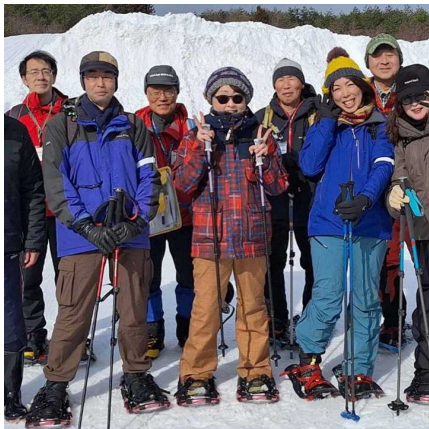
のべ利用者数（1983年6月～2026年1月） 1,150,686 名 1月の利用者数 1,208 名

秋田県立岩城少年自然の家  
（ガンパル岩城）2026. 2. 27

鳥海山・飛鳥ジオパーク事務局共催

## おとなの遠足（冬）

～南由利原に誘われて～



雪山の魅力を体験するためのお手伝い…

会場：鳥海山南由利原高原  
スノーモビルランド

2月4日（水）、「おとなの遠足（冬）～南由利原に誘われて～」を開催しました。

この事業は当施設に長く続く事業で、リピーター率の高い事業です。今回は、雪山の自然の豊かさや魅力に触れる機会を提供するべく、事業を計画しました。

事業担当者は、普段の生活では体験できない雪山での自然体験をとおして、その魅力を存分に体感していただくために準備を進めました。今季は降雪量が十分にあり、当日は天候にも恵まれて、自然体験を通じて雪山の美しさを鑑賞していただける最高の状況となりました。

午前には鳥海山・飛鳥ジオパーク認定ガイドの方の案内で、スノーシューを使用したスノートレッキングを行いました。参加者の方たちは、雪原を踏みしめながら野生動物の足跡を見つけたり、雪景色を写真に収めたりして、雪山の魅力を全身で感じていました。

昼食は、鍋焼きうどんなどで身体を温めました。午後は、スノーモビル乗車体験を実施しました。参加者の皆さんは、スノーモビルの運転は初めてでしたが、短時間で運転のコツをつかみ、スノーモビルを駆って雪原を疾走しました。

今回の事業で体験した雪山の魅力と厳しさ、そして、留意事項等の学びを活かして、参加者の皆様が、秋田の冬を楽しむ契機にいただければと思います。

# 日本酒講座開講



日本酒講座Ⅰ 特別講座受講者の皆様



天寿酒造 大井 将樹 講師



日本酒講座Ⅱ 酒蔵開放参加者の皆様

## 鳥海山の湧水と酒造文化を学ぶ、大人のための講座

日本酒造りはユネスコの無形文化遺産です。そして、郷土秋田の由利地区には、鳥海山の自然と気候風土、豊かな湧水を活かした老舗の酒蔵がいくつもあります。この鳥海山の湧水と酒造文化を学ぶために、令和7年度新酒鑑評会金賞天寿酒造株式会社の大井将樹氏を講師に迎え、日本酒講座を開講しました。

本事業は少年自然の家として初の試みでしたが、募集定員を上回る申し込みをいただきました。2月14日（土）、大井講師を迎え、「天寿の酒造り」と題して特別講座を開講しました。県内外から参加した20歳代をはじめとする男女の受講者が岩城少年自然の家に集い、天寿の酒造りについて学びました。

受講者からは、日本酒の搾り方と味わいの違いについての質問から、全国金賞を受賞した酒造りの根幹の部分まで様々な質問が出されました。大井氏からは、一つ一つの質問に丁寧に答えながら、微生物の働きで完成する日本酒の美味しさや味わい方、酒造りの難しさなどについて解説していただきました。

2月21日（土）は老若男女17名が参加して、第二回講座天寿酒造酒蔵開放参加編を開催しました。前回学んだ日本酒造りの工程や杜氏の技術、酒味などについて、杜氏の方の解説を聞きながら酒蔵を見学し、実際に日本酒を味わいながら、第一回講座の学びを、体験を通じて確かめる機会となりました。

本講座での学びと体験が皆様の経験となり、鳥海山の湧水と気候風土に育まれた郷土秋田の酒造文化について、理解が深まる機会となったのであれば、主催者として、これ以上無い幸いです。

### 3月の予定

#### 受け入れ団体・施設予定等

仁賀保中・東由利中野球部	20日（金）～21日（土）	鹿島学園	26日（木）～28日（土）
		霞会	27日（金）

#### <主催事業・出前講座>

オープンデー	15日（日）
天王児童クラブ	24日（火）



### 秋田県立岩城少年自然の家



FB



IG



HP



### 令和7年度 第二回協働会議開催

2月18日（水）、協働委員の皆様と秋田県教育庁生涯学習課職員に参加いただき、第二回協働会議を行いました。

会議では、今年度の施設運営について報告した後、ご意見をいただきました。各委員からは、申請手続きの簡略化や地域を拠点とした主催事業の計画についてのご提言、そして、令和7年度新規事業広報活動の成果に関するご質問等、次年度の施設運営を検討する上で示唆に富むご意見を頂戴しました。

令和8年度は「施設・事業・組織」の面から運営を見直し委員の皆様のご意見を参考にして、新たな岩城少年自然の家の運営を目指して参ります。